

市長の
緊急
申し入れ

財政運営を住民のくらしより優先する 「財政非常事態宣言」は撤回を

行政の維新プロジェクトについては、特集号を予定しています

緊急
申し入れ



7月14日、吹田市議団は市長に対し

1 「財政非常事態宣言」は撤回し市民・議会審議軽視の「マネジメントチーム」による見直し作業は中止を!

2 千里救命救急センターの府補助金復活にとりくみ、国保料値上げにつながる広域化には市長として反対を、原発事故・津波災害など防災計画の見直しを!

の2点について緊急申し入れを行いました。

市長は施政方針で、臨時財政対策債(赤字地方債)と財政調整基金の取り崩しで予算を組んでいるから「赤字体質」「財政非常事態」といっていますが……

財政調整基金は地方自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。税収減に対応する必要があるときなどに取り崩すものです。

臨時財政対策債は国の地方交付税特別会計の資金不足を解消するため2001年度に発足した制度で、建設事業以外にも充てられる地方債です。吹田市は2010、2011年度普通交付税の交付団体になっており、交付団体には後年度に元利償還分が全額交付税措置されます。どちらも地方自治体の財政運営において認められた制度を活用しているといえます。

市長と一部の幹部職員、外部委員(学者)による「マネジメントチーム」により3月議会で議決した予算(2年で約14億円)を執行中止

旧北千里小学校関連事業も廃止

廃校になった北千里小学校をリニューアルし、必要な公共施設を整備することになっていました。地元住民のみなさんと協議を重ねてきたものを突然中止し、9月議会での減額補正予算を提案表明するとは、市民・議会との信頼関係を壊すものです。

北千里コミュニティプラザ	コミュニティ施設の少ない北千里で18年前から住民が要望。
地域包括支援センター	高齢化率の高いニュータウンでの整備が必要。(南千里にはすでに設置)
障害児見守り事業	ニュータウン地域で不足しているサービスのため。
児童センター	他地区では整備が終わっている。最後の未整備地域。
北千里小学校メモリアル施設	廃校に至る経過で設置された。教室の現況保存が不可欠。

その他中央公民館等整備事業など11事業の中止、2事業の見直しを決定。

市長の給料・期末手当の3割カット、退職金5割カット条例について

4年間で約3500万円の減額をするというがその中身は橋下知事にならったというだけ。「自分の身を切ったから」とこれまで吹田市が市民とともに築いてきた市の独自施策を廃止しようとしていることがこの問題の本質であることを指摘し、条例に反対はしないが市民に寄り添った市政運営をするよう求めました。(民主以外の賛成で可決)

自然体験交流センターの指定管理者制度の導入に反対

この間指定管理者制度などにより民間委託されたスポーツ施設で重大な事故があいついでおこっています。そもそもこの制度は企業参入で安上がりにし利用者の安全を脅かすものであり、来年4月からの導入には反対しましたが他の会派の賛成で可決されました。

可決された意見書 (賛成=○ 反対=×)

	日本共産党 (8人)	民主市民連合 (6人)	公明党 (7人)	自由民主党 絆の会 (5人)	吹田新選会 (3人)	すいた市民自治 (2人)	すいた市民クラブ (2人)	みんなの未来 (2人)	吹田いきいき市民ネットワーク (1人)
米軍普天間飛行場移設問題についての意見書	○	○	○	×	×	○	○	×	○
原子力発電からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める意見書	○	○	○	×	○	○	○	○	○
学校の校舎・校庭等の利用基準を見直し、子供の被曝量を最小化するための措置を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○	×	○
電力多消費型経済からの転換を求める意見書	○	○	○	○	×	○	○	×	○

他に「食品に関する放射能暫定規制値の見直しを求める意見書」「学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書」は全会一致で可決されました。